



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日 東

上場会社名 富士ダイス株式会社 上場取引所  
 コード番号 6167 URL <http://www.fujidie.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 徳彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長 (氏名) 井出 剛 (TEL) 03-3759-7124  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,888	—	150	—	123	—	74	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 71百万円( —%) 27年3月期第1四半期 —百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	3.70	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、平成27年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年3月期第1四半期の数値及び平成28年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	23,487	16,994	72.4
27年3月期	24,383	17,306	71.0

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 16,994百万円 27年3月期 17,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	19.20	19.20
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,395	—	534	—	560	—	409	—	20.47
通期	16,897	4.0	1,148	5.5	1,201	6.3	880	14.8	44.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成27年3月期第3四半期(累計)より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	20,000,000株	27年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	ー株	27年3月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	20,000,000株	27年3月期1Q	ー株

(注) 当社は、平成27年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数(四半期累計)を記載していません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。  
 なお、当第1四半期決算短信の開示時点において、当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安基調の定着による企業収益の回復や、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復傾向にあります。依然として景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

こうした状況のなか、当社グループは「和譲」の年度方針のもと、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスを顧客に提供することに努めてまいりました。

超硬製工具類では、原油相場下落の影響により大型パイプ用ダイスの販売は低調でしたが、鉄鋼向け超硬ロールの幅広い需要を取り込んだこと等により、売上高は1,062百万円となりました。

超硬製金型類では、粉末成形用金型の需要回復にもたつきが見られるものの、海外向けの自動車部品用金型が引き続き好調に推移したこと等により、売上高は965百万円となりました。

その他の超硬製品では、電子部品やモーター関連製品向けの超硬合金チップが伸びたこと等により、売上高は846百万円となりました。

超硬以外の製品では、海外向けのダイヤモンド研削砥石が現地での販売競争激化により、販売が減少しましたが、自動車部品生産用の鋼製品が堅調に推移したこと等により、売上高は1,013百万円となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,888百万円となり、営業利益は150百万円、経常利益は123百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は74百万円となりました。

なお、平成27年3月期第1四半期の連結業績については、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表を作成しておらず、金融商品取引法に基づく四半期レビューを受けておりませんが、参考情報として、記載しますと以下のとおりになります。

<参考情報：平成27年3月期第1四半期及び平成28年3月期第1四半期の連結業績の概要>

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,888	3.0	150	20.3	123	13.4	74	22.1
27年3月期第1四半期	3,774	—	124	—	109	—	60	—

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、23,487百万円(前連結会計年度末24,383百万円)となり、896百万円減少いたしました。流動資産は13,932百万円(前連結会計年度末14,638百万円)となり、706百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が465百万円減少、受取手形及び売掛金が168百万円減少したことによるものであります。また、固定資産は9,555百万円(前連結会計年度末9,745百万円)となり、189百万円減少いたしました。これは主に、機械装置及び運搬具(純額)が77百万円減少、建物及び構築物(純額)が58百万円減少したことによるものであります。

## (負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の部は、6,493百万円(前連結会計年度末7,077百万円)となり、583百万円減少いたしました。流動負債は4,296百万円(前連結会計年度末4,801百万円)となり、505百万円減少いたしました。これは主に、未払費用が209百万円減少、未払金が185百万円減少、未払法人税等が176百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は2,197百万円(前連結会計年度末2,275百万円)となり、78百万円減少いたしました。

## (純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は、16,994百万円(前連結会計年度末17,306百万円)となり、312百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払い等により、利益剰余金が309百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年6月25日付の「東京証券取引所市場第二部への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,983	5,518
受取手形及び売掛金	4,605	4,436
有価証券	1,000	1,000
商品及び製品	196	269
仕掛品	1,434	1,393
原材料及び貯蔵品	1,025	969
繰延税金資産	170	169
その他	228	180
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	14,638	13,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,066	3,008
機械装置及び運搬具（純額）	2,675	2,598
工具、器具及び備品（純額）	259	250
土地	2,738	2,734
建設仮勘定	61	4
有形固定資産合計	8,801	8,597
無形固定資産		
その他	99	106
無形固定資産合計	99	106
投資その他の資産		
投資有価証券	341	359
長期貸付金	35	34
繰延税金資産	390	382
その他	79	77
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	843	851
固定資産合計	9,745	9,555
資産合計	24,383	23,487

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,102	2,031
短期借入金	387	385
1年内返済予定の長期借入金	122	108
リース債務	51	50
未払金	813	628
未払費用	764	554
未払法人税等	225	49
賞与引当金	274	368
役員賞与引当金	16	—
その他	44	119
流動負債合計	4,801	4,296
固定負債		
長期借入金	194	176
リース債務	86	74
繰延税金負債	10	11
役員退職慰労引当金	405	6
退職給付に係る負債	1,578	1,574
その他	0	353
固定負債合計	2,275	2,197
負債合計	7,077	6,493
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	164	164
利益剰余金	16,728	16,418
株主資本合計	16,892	16,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107	117
為替換算調整勘定	369	355
退職給付に係る調整累計額	△63	△61
その他の包括利益累計額合計	414	411
純資産合計	17,306	16,994
負債純資産合計	24,383	23,487

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	3,888
売上原価	3,000
売上総利益	888
販売費及び一般管理費	737
営業利益	150
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	2
受取賃貸料	5
その他	1
営業外収益合計	14
営業外費用	
支払利息	4
株式公開費用	22
為替差損	11
その他	0
営業外費用合計	40
経常利益	123
特別利益	
固定資産売却益	0
特別利益合計	0
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税金等調整前四半期純利益	123
法人税等合計	49
四半期純利益	74
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	74

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自平成27年4月1日  
至平成27年6月30日)

四半期純利益	74
その他の包括利益	
其他有価証券評価差額金	10
為替換算調整勘定	△14
退職給付に係る調整額	1
その他の包括利益合計	△2
四半期包括利益	71
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	71
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。